



令和元年5月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

## 稲取漁港直売所「こらっしえ」オープン



こらっしえの営業時間は8:30~15:00、  
毎月第2火曜日が休み。☎0557-95-2023

伊豆漁協と国・県・町が整備した稲取漁港直売所「こらっしえ」が4月19日10:00に開所しました。伊豆漁協が事業実施主体ですが、伊豆太陽農協との共同運営で営業します。この日は地元立縄船が水揚げした「稲取キンメ」をはじめ定置網で獲れたワラサやマアジなどの水産物、ニューサマーオレンジ、キンギョソウ、野菜など東伊豆町、河津町で生産された農産物、東伊豆町地域認定商品が販売されていました。開所時刻2時間前から買物客数十人の行列ができ、営業開始後も入所者数管理が行われるほどの大盛況でした。佐藤伊豆漁協組合長の挨拶にあった通り、施設が地域住民や観光客など多くの人に利用され、漁家農家の所得向上、町の経済活性化に繋がることが期待されています。なお、「こらっしえ」はこの地域の方言で「来てください」の意味で、公募して決められました。

### 今漁期の定置網へのブリ入網状況

伊豆東岸定置網では、3月下旬より、ぶりの入網が本格化しました。例年2月頃から入網し始めますが、今年は3月下旬と少し遅く、主に谷津、北川、富戸漁場に入網しました。

水揚げされたぶりは、体長（尾叉長）75~85cm、体重8~10kgで丸々と太り、脂乗りの良い魚体でした。しかし、3/1~4/20の水揚量は159トンと前年を下回り、4月中旬頃から、わらさの入網が目立ってきましたので、ぶりの入網は次第に終息すると思われる。



↑伊東魚市場に水揚げされたぶり

解説：ブリ：日本列島を南北に索餌・産卵回遊する大型魚で魚食性。体重で銘柄が分かれ、6kg以上がぶり、6kg未満がわらさ、2kg未満がいなだ、0.5kg未満がわかし。

**5月の予定** ●熱海地区でヒラメの放流があります。 ●テングサの作柄予察を発表します。 ●マダイ放流のための中間育成の打合せが行われます。 ●田子地区で17日にカサゴが放流されます。 ●静岡県定置漁業協会の総会が24日、伊東市で開催されます。

### 富戸ダイビング施設リニューアル

4月3日、伊東市富戸のいとう漁協富戸支所ダイビングサービス施設の竣工式が開かれました。同施設は築30年が経過し、老朽化が進んでいたため、昨年12月より改修工事が行われていました。

新たな施設は、カフェのような外観で、女子更衣室にはパウダールームを備えるなど、新しいだけでなく、より利便性の高い施設へと生まれ変わりました。ダイビングを通して、より多くの人に伊豆の海の魅力を知っていただけることを期待します。



↑新ダイビング施設外観



↑パウダールーム

**6月1日(土)に伊豆漁協魚市場で『水産祭り』が開催されます。**

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu